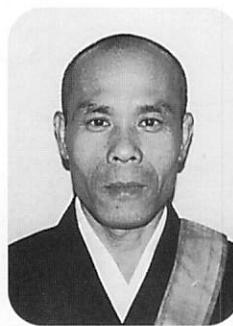


社会教化事業協会
会長として
妙藏寺住職 藤尾成能



今般 思いがけず佐賀県日蓮宗社会教化事業協会の会長職をお預かりする事になりました。先代会長の宗務所長就任に伴う事とはい、もとより浅学非才、その任を全う出来るか大いに疑問ですが、管内皆々様のご支援ご配慮を頂きなんとか任期を勤めさせて頂く所存です。

日蓮宗社会教化事業規程によれば本宗の社会教化事業は、祖願に立脚した社会の平和と福祉に寄与し、社会浄化に貢献することを目的とする。と謳っています。具体的には、国又は地方公共団体の法令に準じて行う事業と、そうでは無い事業に分かれています。母親は戦後半世紀を経て、ますます

慈眼

第14号

発行所
藤津郡塩田町大字
五町田甲1307 学成院内
TEL 09546-6-2285
FAX 09546-6-2771

日蓮宗佐賀
教化センター

発行責任者 小寺大誠
印刷所 中野印刷所

ています。いわゆる社会福祉法人を主体とする各種保育園、老人施設等が前者であり、全国本宗寺院で展開されている相談室等が後者になろうかと存じます。さて現今少子高齢化と何かと騒がしい事です。実は現在もそしてこれからも問題の多くはこのキーワード、少子高齢化にあります。平成十二年の現在日本の人口は約一億一千万人強で、約二十年後には、最大の一億三千万人の国勢となる様です。現在三・五人に一人の割合で六十五歳以上の老人を扶養しているそうです。二十年後には、二人弱の若者が一人の老人?を扶養する事になるそうです。現在五十歳前後の団塊の世代の人々はオチオチ老人になれないとされています。

さて現今、青少年の犯罪には目を覆うものがあります。中でも、この春、佐賀県を全国的に有名にしたバスジャック事件は、記憶に新しいところです。十七歳の少年の犯行は少年法の改正等を改めて社会に突きつけました。これから問題の根底には二つの事が挙げられるようです。一つには家庭内の父親の存在感の無さが挙げられまして、もう一つは地方公共団体の法令に準じて行う事業と、そうでは無い事業に分かれています。母親は戦後半世紀を経て、ますます

家庭内での存在感を強くしている様です。父親の仕事第一主義により、家庭を省みず、子供達に家庭や社会でのモラルの喪失を招いてしまいました。二つには、子供達を取り巻く環境が豊かになり、物質第一主義となっていることが挙げられます。私達の社会が物で栄えて、心で亡ぶと云われて久しいことです。その結果、子供達に我慢すること、耐えることを学ばせることが出来ませんでした。

さて七百年前に、宗祖日蓮大聖人は「藏の財よりも身の財 身の財よりも心の財第一なり」と申されました。この御遺文は本当に現実の日本社会をお救い下さる道筋、方向をご教示頂いています。つまりはどの様な時代、社会になろうとも私たちは日蓮大聖人の祖願に基づき行動する事が原則だと云えます。如何に地域社会に向けてお寺を開放出来るかが問われています。そのための答えが最初に挙げた相談室といえます。宗門でも現在相談室の開設方法等その運営実施に向けて推進中です。現実の檀信徒の皆さんとのお付き合いの中で、分に応じて扶養し合い、積み上げて行きたい事なんです。そうすれば本宗の社会教化事業の目指す、祖願に立脚した社会の平和と福祉に寄与し、社会浄化に貢献することの大目的に沿うべき小さな一步を築く礎石になると存じます。



立教開宗七百五十年
慶賀シンボルマーク

きやしつぐる
(かいづぶり)

昨今は「荒れる十代」と言われていますが、日本の戦後教育に本当に問題はなかつたのでしょうか。

か。

「教育の三原則」というものがありますが、即ち「体育、智育、德育」の三つを指します。戦後日本は、物を造る事に全身全霊をかたむけ経済大国を目指に突き進んできましたが、人間の教育に於きましては「体育」「智育」には力を入れてきたものの、最も大事な心作りであります「德育」を忘れてきました。

想像を絶する少年犯罪が多発している今日、私達は、「物作り」ではなく「人間(心)作り」を真剣に考えないと、本当の豊かな社会は遠い先の事になってしまいます。

【特集】 前号より引き続き日蓮大聖人のご生涯

前号より引き続き日蓮大聖人のご生涯をたどつて参ります。

『前号まで』
千葉県小湊でお生まれになられた日蓮大聖人は清澄寺で出家された後、諸国を遊学されついに、最勝の法を覚知されました。



かいしゅうせんげん
〈開宗宣言〉

『開宗宣言』
法華經こそがお釈迦様の眞実の教えを説かれた經典であると確信された日蓮大聖人は、両親や師匠の待つ故郷へと向かわれます。法華經によれば、末法の世にこの經を弘める者には様々な迫害や法難が待ち受けている、とあります。が日蓮大聖人は、「これを申さば必ず日蓮の命なるべし」と存知せしかども、虚空藏菩薩(さくらうぼさつ)の御恩を報ぜんが為」とまさに命がけで弘經なされる決意をされました。ついに

一二五三(建長五)年四月二十八日、出家得度なされた清澄寺の旭ヶ森にて東方のはるか太平洋上から昇りくる朝日に向かつて力強く「南無妙法蓮華經」と初めてお題目を唱えられました。これでもって我が宗では「立教開宗」と申します。その後、それまでの名(蓮長)を(日蓮)と改名されました。その由来は「明らかなること、日月に過ぎんや、淨きこと蓮華にまさるべしや。法華經は日月と蓮華なり。ゆえに妙法蓮華經と名づく。日蓮又、日月と蓮華との如くなり」と申され、闇を照らす日月、泥沼の中にもつても美しい花を咲かせる蓮華。そのように世の中の人々を救済していくこう、という決意のこもつた改名なのでした。

旭ヶ森での立教開宗の後、清澄寺にて初めての説法が開かれることになり、大勢の人々が持仏堂に集つてきました。そこには地頭の東条景信をはじめ多くの念佛の信者がいたのです。その大衆に向い日蓮大聖人は「法華經以外の法を尊び念佛や禪の信仰をする為に色々な災難に見舞われるのである。法華經こそが眞実の仏法なのだ」と仰せになりました。すると聴衆のほとんどの念佛信仰の者は憤り、東条景信は日蓮大聖人を殺してしまえというほどに激怒しました。その後、日蓮大聖人は故郷を後にし、再び鎌倉に出られ法華經

伝導の決意をなされたのでした。

【鎌倉辻説法】

鎌倉に入られた日蓮大聖人は松葉谷(まつばかや)に草庵を構え、そこを拠点に本格的な法華經流布の活動を開始されます。

当時の鎌倉は天変地異や火事や疫病などに再三見舞われ、庶民はまさに地獄の苦しみを味わつていました。こうした状況の下で日蓮大聖人は民衆を救済する為に鎌倉の街で「法華經に帰依せよ」と呼びかけます。しかし、その叫びは念佛や他宗の信心に固まつた衆の反発と憎悪を買つばかりで罵倒(ばとう)投石が絶えませんでした。しかし、日蓮大聖人は、法華經弘通には迫害を受けた事は、すでに法華經に予言されていました。そして、その日蓮大聖人の熱心な布教活動により、弟子や信徒も数を増し次第に日蓮教団の形成がなされていったのでした。



かまくらつじせっぽう
〈鎌倉辻説法〉

佐賀の老舗

辻の堂の仏だんや
(株)本庄仏具総本店

佐賀市堀川町(辻の堂) ● TEL 0952・23-2955(代)

信用本位

花と葬儀

木下株式会社
平安閣冠婚葬祭互助会



草苑

佐賀市兵庫町藤ノ木1115
(0952) 30-4040

佐賀市本庄町大字本庄951
(0952) 25-1255

このきょうはたもちがたし
われすなわちかんぎす

もししばらくもたもつものは
しょぶつもまたしかなり

此經難持喜

諸佛亦然

「お上人さん、これはおれが食べる為に作ったものだから虫が付いてるんだ。薬かけるのが少ない証拠だからさ。それのかわり安心野菜というわけさ。スーパー、学校等に出しているものは見た目が成りが良いものだけで、虫など付いてたら置いてくれないし、お客が買わないんだ。その為薬など必要以上にたくさんかけなければならないんだ。作ったおれは喰う気はしない。」

といって畠仕事が終わつた農家の人が虫喰い茄子を某寺の本堂のご本尊、日蓮大聖人にお供えしていかれたそうです。

虫が付かないように、見た目が良いよう、又おいしさ等の為か農作物等には必要以上に大量の薬、放射能等が使用されると聞きます。

そこで思い出されるのが、某動物園の猿です。約十年前のことですが、本来の自然のままの食ではないスナック菓子などだけで育てていたら、奇形児が異常に増えたので、それをやめたという新聞記事をどう考えたらよいでしょうか。

見た目のきれいさ、おいしさ等上辺だけで品定めをする消費者がいらっしゃる。

ばこのことをどう考えられるでしょうか。そこでそのことに重要な役目をはたすはずの宗教も、上辺だけのインチキ宗教ではなく、本物が求められなければなりません。逆に宗教そのものがカルト宗教に代表されるように問題になっています。病気が治る等それだけ、目先のことだけで説き終わるような宗教。耳ざわりが良く甘言で引き付けるような安易な事が感じを中心に布教するような宗教に魅力を感じる人が多いようです。

この経文は法華経見宝塔品第十一のなかの宝塔偈の出だしで、法要では唱題の後に唱えます。

お釈迦さま、法華経、日蓮大聖人の教え、そしてその誓願は「立正安國」です。その為には南無妙法蓮華経（佛の心）を口先だけでなく、身口意の三業にみんなが受持しなければなりません。

そのことは本来簡単なことではないのです。生老病死の四苦に代表されるこの世界で本当の幸せを求め、実現するというは非常に難しい事なのでお釈迦さまはこのように説かれたのではないでしょ

うか。

た日蓮大聖人は、弟子の鏡忍房や信徒等十人ほどの供をつれて吉隆の邸に向かっていました。一行が東条の小松原にさしかかった時、待ち伏せをしていた地頭の東条景信を中心とした念仏信者等に襲われました。（小松原の法難）

その時、日蓮大聖人は眉間に二寸ほどの傷をうけられてしまいました。

奇跡的に鬼子母神のご加護で救われた日蓮大聖人は、夜道を逃れ小湊山の近くにたどりつかれました。翌朝、額に深く傷をついている日蓮大聖人の姿を見かけた老婆が、とつさに自らかぶつていた綿を日蓮大聖人にさし上げたと言うことです。

これが、綿帽子の由来ですが、寒くなると痛んだであろう日蓮大聖人を偲んで、秋のお会式から春に行われる彼岸会、あるいは千部会の四月上旬頃まで綿帽子をかぶせるようになつたのです。

Q 秋に入りますとお寺の日蓮大聖人像の頭上に綿帽子がかけられていますが、それはどんな意味があるのでしょうか。

A 文永元年（1264）十一月十一日 天津の工藤吉隆のもとに招待を受けていた日蓮大聖人は、弟子の鏡忍房や信徒等十人ほどの供をつれて吉隆の邸に向かっていました。一行が東条の小松原にさしかかった時、待ち伏せをしていた地頭の東条景信を中心とした念仏信者等に襲われました。（小松原の法難）

その時、日蓮大聖人は眉間に二寸ほどの傷をうけられてしまいました。

奇跡的に鬼子母神のご加護で救われた日蓮大聖人は、夜道を逃れ小湊山の近くにたどりつかれました。翌朝、額に深く傷をついている日蓮大聖人の姿を見かけた老婆が、とつさに自らかぶつていた綿を日蓮大聖人にさし上げたと言うことです。



手を合わせるこころを大切に...
山木化具
佐賀市呉服元町10-12 23-4308
〒840-0824 ☎ (0952) 23-4308

創業明治22年

旅館

あけぼの

佐賀市中ノ小路3-10 ☎ (0952) 24-8181

・寺院用具一式	・前柱	・金	・宮
・登高座	・卓	・斧	・経
・仏壇	・復	・須	・仏
・繪	・天蓋	・英彌	・瓊
・塗	・他	・教	・宿

殿机具 瑞若

寺院紹介(十二)

妙光山 常照院

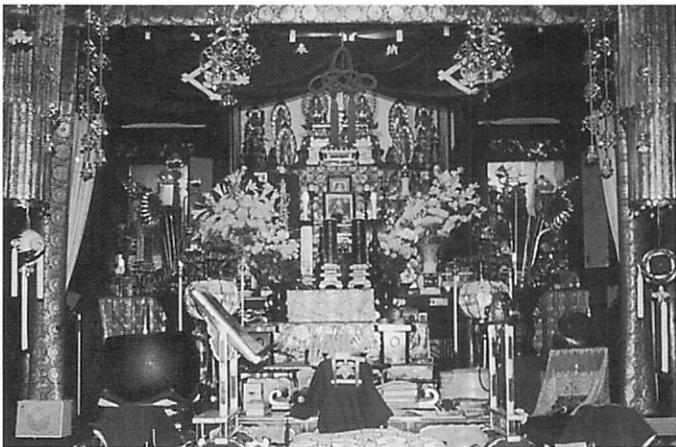
佐賀市本庄町鹿ノ子
一二〇六一三



福山智彦住職

歴史

当山は、九州探題千葉胤継の副将であつた。石井越後守忠国により永亨元年へ賀駅より本庄東与賀線のバスに乗り、鹿子宮前にて下車し、徒歩十分の所にあります。



〈常照院御宝前〉



〈常照院全景〉

所として、六十三石余りの知行地を与えると共に、義父常廷の法名

常照院殿常悦日教大神儀の法名にちなみ本善寺を常照院と改称することと命じ、その後、妙光山常照院と号した。

更に寛永九年には祖母、陽泰院の供養料として三石余りの知行地が藩主光茂るより下賜されている。

寛文七年諸堂を焼失したと伝えられている。

明治四年（一八七一）二月火災にあい全堂焼失した。

それより三間六間の仮本堂であつたが、明治四十五年に至つて六間六間半の本堂と三間六間の庫裡が新築されました。

更に昭和八年に庫裡の改築、鬼子母神堂の新築がなされた。

本堂屋根の老朽化が著しかったので、

平成に入り本堂、鬼子母神堂の屋根の修理及び庫裡の改築が、平成七年度よ

りなされ平成十二年九月に至つて工事が完成し、今日の姿となつた。

寺宝

常照院は幾度の火災に遇い数多くの寺宝は焼失してしまつた。

その中で、如水初祖の作、宗相尊像精薩諸師の本尊などを蔵している。

仏壇・仏具・寺院用具・寺院納骨堂設計施工
拝む心で尊い品を



梅谷佛具店
TEL 092-271-0456

本店 〒812 福岡市博多区下川端町10-9
-0027 (地下鉄中洲川端駅下車)

支店 〒819 福岡市西区周船寺3-9-4
-0373

フリーダイヤル
0120-39-0456

TEL 092-806-7499

通産大臣認可 7産第2930号
株式会社 **冠婚葬祭こころの会**



三日月町大字久米2084-1 ☎72-3177・FAX72-3633

こころの会指定店

**有限
会社**

黄城

小城町270 ☎73-3938・FAX72-3633